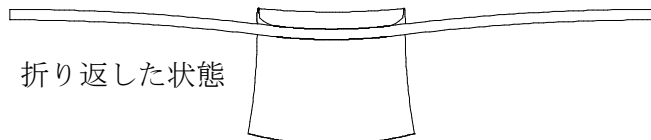
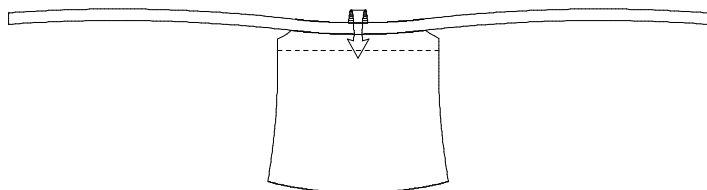


# 蕎麦作りの技術・豆知識 [20]

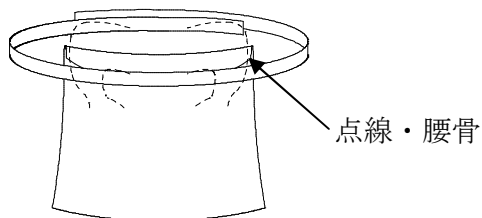
平成 22 年 6 月 28 日  
鶺の会広報・荒井正憲

今回は、最近前掛けの付け方が上手に出来てなく、服装が乱れたように見えるのもう一度説明したほうが良いのではとの提案がありましたので、以前に鶺飼先生からお聞きした前掛けの付け方をお知らせします。

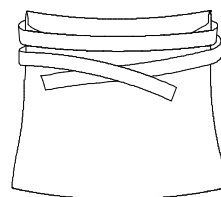
① 前掛けの紐の部分を実線の位置(紐の幅より少し広いぐらい)から折り返します。



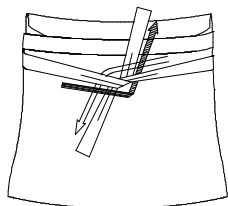
② 紐の両端を腰骨の最も出っ張った位置にかかるとして体に巻いて回します。



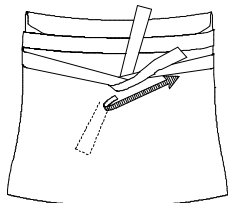
③ 紐の両端を前に回したらどちらかを下に(この図では左からの端)して交差します。



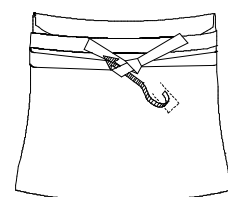
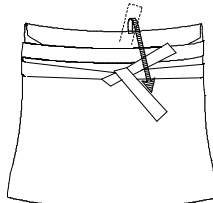
④ 右から回した紐の端を左からの紐の下から通します。



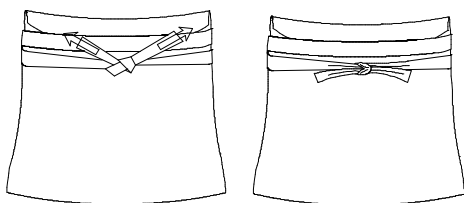
⑤ 右にある紐の端を図のように折り返します。



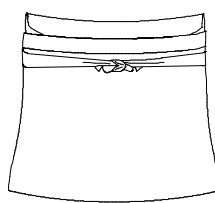
⑥ 上側の紐の端を、右から折り返した端の下から通して交差します。



⑦ 紐の両端を引っ張って締めます。

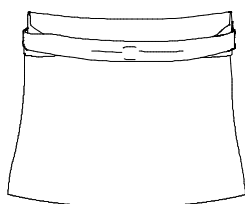


⑧ 紐の端を巻いている紐の下に押し込んで処理します。



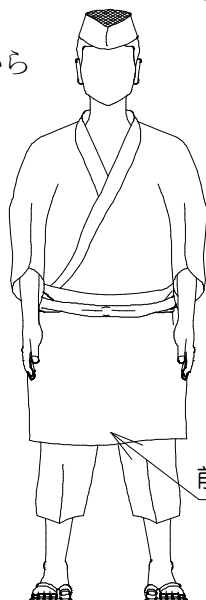
紐の交差はこのようなイメージ

⑨ 最後に折り返した部分を結び目の上から被せて、突起部がないように調えます。



前掛けの結び目が出っ張っていると、延しの作業のときに蕎麦生地に触れて傷をつけたり穴を空けてしまうことがあるので、注意してください。

蕎麦打ちは調理作業です、清潔な身なりで行なうのが基本を心がけましょう。



前掛けの裾は膝くらいまで